



大津留 晶
緑川 早苗

2020年4月から大津留は長崎と福島県内で、緑川は福島県内でそれぞれ、内科医として診療を続けています。

私たちは福島県立医科大学を離れ、POFFの活動を行います。

私たちは福島医大在職中に数年間、甲状腺検査の運営や現場の業務に携わりました。その経験をもとに、医師として住民のために甲状腺検査がどうあるべきかを問い続けて参りました。2020年3月で福島医大を退職し、教育や診療に携わりながら、このPOFFの活動を行っていくことになりました。